

令和7年度 取手市部活動地域移行保護者説明会

取手市は、子供たちのスポーツ・文化環境を整えるため、部活動の地域移行に取り組んでいます。



令和7年11月6日(木)・14日(金)

令和7年度 取手市部活動地域移行保護者説明会

○開 会

○あいさつ

○説 明

- ・スポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けて」より
- ・取手市の取組について

○質 疑

○閉 会



スポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けて」より①

1

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」 最終とりまとめ（令和7年5月16日）について

改革の 理念等

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実
- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出
- 改革の理念等をより的確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。

次期 改革期間

令和5年度～7年度

「改革推進期間」



令和8年度～10年度

「改革実行期間」（前期）

令和11年度～13年度

「改革実行期間」（後期）

休日

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す

平日

各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進（まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証）

費用負担 の在り方

- 地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等を検討
- 公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要。国において受益者負担の目安等を示す
- 経済的困窮世帯の生徒への支援は確実に措置。部活動指導員の配置についても一定の範囲で支援

各論

運営団体等の体制整備や指導者確保をはじめとする8項目の個別課題について、具体的な対応策を提示

【最終とりまとめに関するHP掲載資料】

- ① 最終とりまとめ（概要）
- ② 最終とりまとめ（本文）
- ③ 別添資料（部活動の地域展開に当たっての取組事例集（個別課題への対応等））



https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/039_index/attach/1420653_00001.htm

「地域展開」への名称変更

学校部活動から地域クラブ活動への転換を表す名称

現行

地域移行

見直し

地域展開

変更の趣旨

- ①従来、学校内の人的・物的資源（学校の施設を含む）によって運営されてきた活動を広く

地域に開き、地域全体で支えていく

- ②地域に存在する人的・物的資源を活用しながら、地域全体で支えることで可能となる**新たな価値を創出し、**

より豊かで幅広い活動を目指していく

改革の方向性

次期改革期間

令和5年度～令和7年度
改革推進期間



中間評価

令和8年度～令和10年度
改革実行期間
(前期)

令和11年度～令和13年度
改革実行期間
(後期)

休日

次期改革期間内に、原則、全ての部活動において地域展開を実現

- ※地域の実情等を踏まえつつ、**できる限り前倒しでの実現**を目指すことが望ましい
- ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としてもきめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。

平日

各種課題を解決しつつ**更なる改革を推進**

国：活動の在り方や課題への対応策の検証を行う

地方公共団体：地域の実情等に応じた取組を進める

スポーツ庁「部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進に向けて」より④

4

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめ（5/16）ポイント②

各論（個別課題への対応等）

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備等

- 地域全体での連携体制の整備（地方公共団体と関係団体等との連携・協働、コーディネーターの配置、学校との連携等）
- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成
- 組織体制・財政基盤の整備
- ICT活用による運営業務の効率化 等

2. 指導者等の質の保障・量の確保

- 多様な人材の発掘・マッチング・配置（人材バンクの設置・運用、大学生の活用促進、希望する教職員の兼職兼業等）
- 適切な資質・能力の保障、人材育成（研修会開催、公認指導者資格の取得促進、指導の手引き作成、適切な処遇の確保等）
- 平日（部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導 等

3. 活動場所の確保

- 学校施設等の有効活用（地方公共団体等による協力等）
- 認定を受けた地域クラブ活動の優先利用・使用料減免等
- 活動場所の管理運営の効率化等（ICT活用、鍵の受渡しの負担軽減、指定管理者制度等の活用、学校施設の複合化等）

4. 活動場所への移動手段の確保

- 既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス等）
- 地域公共交通との連携等（運行ダイヤの見直し検討、利用料への補助、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアの活用等）
- 多様な政策分野との連携・協働等（介護・福祉・医療等）

5. 大会やコンクール運営の在り方

- 生徒の大会等の参加機会の確保（地域クラブ活動の認定制度の導入に合わせた大会参加規程の見直し、行政・関係団体等による協議の場の設定等）
- 大会に参加する生徒への支援等（交通費・宿泊費の支援等）
- 大会の運営及び引率等の体制整備（地域クラブ活動関係者や保護者等の参画促進、大会運営の外部委託等） 等

6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進

- 国における取組（ポスター・チラシ・動画等、ポータルサイトやSNS等を通じた広報、説明会・シンポジウム等の開催）
- 地方公共団体等における取組（学校と連携した生徒等へのきめ細かな情報提供等、体験会等の開催、生徒等の希望を把握するためのアンケート調査やワークショップの実施等）

7. 生徒の安全確保のための体制整備

- 事故や暴力・暴言等の不適切行為の防止（指導者等への研修、組織的な体制整備、相談窓口の活用促進等）
- 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
- 生徒及び指導者の保険への加入（傷害保険＋賠償責任保険）

8. 障害のある生徒の活動機会の確保

- 多様な地域の関係者の参画（障害者スポーツセンター、地域のバラスポーツ協会、放課後デイサービス実施事業者等）
- 新たなスポーツ・文化芸術活動の機会の提供
- 障害者対応指導ツール等を活用した指導者の資質・能力の向上 等

5

なぜ中学校部活動の地域移行が必要なのでしょう？

5

- 全国的な少子化の影響で、中学校部活動の部員数が減少しています。
取手市の中学校でも、部員が少なくてふだんの練習や試合が思うようにできない、部活動の数そのものが減ってきているなどの問題が起きています。
他にも、教職員の時間外勤務の増加や部活動顧問が未経験などの課題もあります。



これまでと同じやり方では、部活動を維持していくのは難しいです。



そこで中学生(子どもたち)のために、地域が協力して、
スポーツや文化活動ができる新しい仕組みを作っていく
必要があります。



それが部活動改革＝部活動地域移行です。

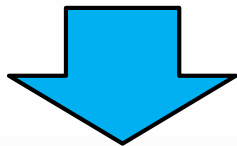


取手市の取組は、

○市が主体となって、令和8年度からは、休日の活動(土曜日、日曜日、祝日の活動)を、中学校の部活動から地域クラブ活動に移行します。

地域クラブ活動とは、中学校単位ではなく、地域(取手市)が主体となって行われる活動です。

○令和7年度の取手市立中学校の部活動の状況は、6つの中学校で、79の部活動(運動部65、文化部14)があり、部員数は1,673名(運動部1,193名、文化部480名)です。



これらの子どもたちの活動を維持していくために、単独方式(人数が足りている場合)や拠点校方式(人数が足りていない場合)で地域クラブ活動を作っていく予定です。



取手市の地域クラブ活動は？

○目的は、地域クラブ活動を通して、

- ・心身ともにバランスのとれた健全な中学生を育成します。
- ・小学生や高校生も含めて、未来を担う子どもたちの成長を支援します。
- ・取手市の生涯スポーツ・文化活動の発展につなげます。

○活動のキーワードは、「楽しく」「うまく」です。

「楽しく」→ 複数の中学校の生徒が参加するので、参加者全員が楽しく、のびのびと活動できるようにしています。

「うまく」→ 高校生や大人になっても続けられるように、個人の技能の向上を目指す内容を中心に行っています。

○活動日や活動時間は、「取手市立中学校に係わる部活動の活動方針」に準じて

- ・活動日は、休日(土曜日・日曜日・祝日)になります。活動場所は、取手市内の中学校等になります。
- ・活動時間は、通常一日あたり4時間(生徒の移動や準備等の時間を含めて)です。ただし、大会や練習試合などの場合は、一日あたり8時間を原則とします。
- ・一日の活動時間を超えて活動した場合には、他の日に休養日を振り替えます。



取手市の取組について①

☆令和7年度の地域クラブ活動、モデル事業について

種 目	チーム名	拠点校・該当校（○印が拠点校）	クラブ員数	指導者数	指導者の職業
軟式野球（男・女）	取手ブレイブベースボールクラブ(東部)	○藤代南中、取手一中、藤代中の生徒が参加。	29	3	教職員(兼職兼業、1名は 小学校教諭)
	取手ウエストベースボールクラブ(西部) ☆	○永山中、取手二中、戸頭中(野球部なし)の生徒が参加	30	2	教職員(兼職兼業)
バスケットボール（男子）	藤代南・藤代バスケットボールクラブ(東部) ☆	○藤代南中、藤代中の生徒が参加。	26	1	教職員(兼職兼業)
バスケットボール（女子）	藤代・藤代南バスケットボールクラブ(東部) ☆	○藤代中、藤代南中の生徒が参加。	19	1	教職員(兼職兼業)
バレーボール（女子）	藤代南バレーボールクラブ(東部) ☆	○藤代南中、藤代中(バレーボール部なし)の生徒が参加。	17	1	教職員(兼職兼業)
柔道（男・女）	柔道クラブTORIDE（市全体） ☆	○藤代中、取手一中、取手二中(柔道部なし)の生徒が参加。市内の中学生なら参加可。	24	2	教職員(兼職兼業)
剣道（男・女）	藤代剣道クラブ(東部) ☆	○藤代南中、藤代中の生徒が参加。	17	2	教職員(兼職兼業)
	取手二中剣道クラブ(西部) ☆	○取手二中、永山中(剣道部なし)の生徒が参加。	16	1	教職員(兼職兼業)
	取手一中剣道クラブ(東部) ☆	○取手一中の生徒が参加。	27	1	教職員(兼職兼業)
空手道（男・女）	取手二中空手道クラブ(市全体)	○取手二中の生徒が参加。市内の中学生なら参加可。	20	1	教職員(兼職兼業)
吹奏楽	取手二中吹奏楽くらぶ(西部)	○取手二中(西部地区の生徒は参加可)	31	1	教職員(兼職兼業)
吹奏楽	藤代南吹奏楽クラブ(東部)	○藤代南中(東部地区の生徒は参加可)	24	1	会社員(副業届を提出)
8種目	12クラブ	19部活動	280人、1クラブ平均 23.3人	17人	

※これ以外の、サッカー、ソフトテニス、卓球、バドミントンについては、モデル事業行わないが、8年度からは、地域クラブとして活動する。

※令和8年度からは、各種目、取手市の東部（取手一中、藤代中、藤代南中）と西部（取手二中、永山中、戸頭中）の二つの地域クラブで活動していく予定。もともと部活動数の少なかったバドミントン、柔道、空手道は一つの予定。

取手市の取組について②

☆令和7年度の地域クラブ活動、モデル事業の様子について

種 目	チーム名	拠点校・該当校（○印が拠点校）	クラブ員数	指導者数	総合体育大会(8月)までの実績
軟式野球	取手ブレイブベースボールクラブ(東部)	○藤代南中、取手一中、藤代中の生徒が参加	29	3	取手市北相馬郡総合体育大会準優勝
	取手ウエストベースボールクラブ(西部)	○永山中、取手二中、戸頭中(野球部なし)の生徒が参加	30	2	取手市北相馬郡総合体育大会優勝、茨城県選抜軟式野球大会出場
バスケットボール(男子)	藤代南・藤代バスケットボールクラブ(東部)	○藤代南中、藤代中の生徒が参加	26	1	取手市北相馬郡総合体育大会優勝、県南総合体育大会出場
バスケットボール(女子)	藤代・藤代南バスケットボールクラブ(東部)	○藤代中、藤代南中の生徒が参加	19	1	取手市北相馬郡総合体育大会準優勝、県南総合体育大会出場、
バレーボール(女子)	藤代南バレーボールクラブ(東部)	○藤代南中、藤代中(バレーボール部なし)の生徒が参加	17	1	取手市北相馬郡総合体育大会準優勝、県南総合体育大会出場、
柔道(男・女)	柔道クラブTORIDE(市全体)	○藤代中、取手一中、取手二中(柔道部なし)の生徒が参加。市内の中学生なら参加可	24	2	取手市北相馬郡総合体育大会出場、県南総合体育大会出場、県総合体育大会出場、全国大会出場(女子個人)
剣道(男・女)	藤代剣道クラブ(東部)	○藤代南中、藤代中の生徒が参加	17	2	取手市北相馬郡総合体育大会出場、県南総合体育大会出場、
	取手二中剣道クラブ(西部)	○取手二中、永山中(剣道部なし)の生徒が参加	16	1	取手市北相馬郡総合体育大会出場、県南総合体育大会出場、県総合体育大会出場(男子団体)
	取手一中剣道クラブ(東部)	○取手一中の生徒が参加(吹奏楽の生徒1名参加)	27	1	取手市北相馬郡総合体育大会出場、県南総合体育大会出場、県総合体育大会出場、関東大会出場(女子団体)
空手道(男・女)	取手二中空手道クラブ(市全体)	○取手二中の生徒が参加。市内の中学生なら参加可	20	1	県大会出場、関東大会出場、全国大会出場
吹奏楽	取手二中吹奏楽くらぶ(西部)	○取手二中(西部地区の生徒は参加可)	31	1	県南吹奏楽コンクール出場、県吹奏楽コンクール出場
	藤代南吹奏楽クラブ(東部)	○藤代南中(東部地区の生徒は参加可)	24	1	県南吹奏楽コンクール出場
8種目	12クラブ	19部活動	280人、1クラブ平均23.3人	17人、民間1名、小学校教員1名	※赤字は県大会以上の実績

※これ以外の、サッカー、ソフトテニス、卓球、バドミントンについては、モデル事業行っていないが、8年度からは、地域クラブとして活動する。

取手市の取組について③ 令和7年度の取組

10

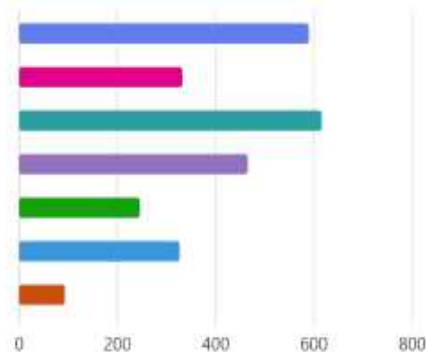
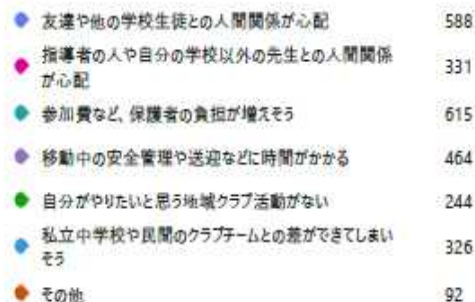
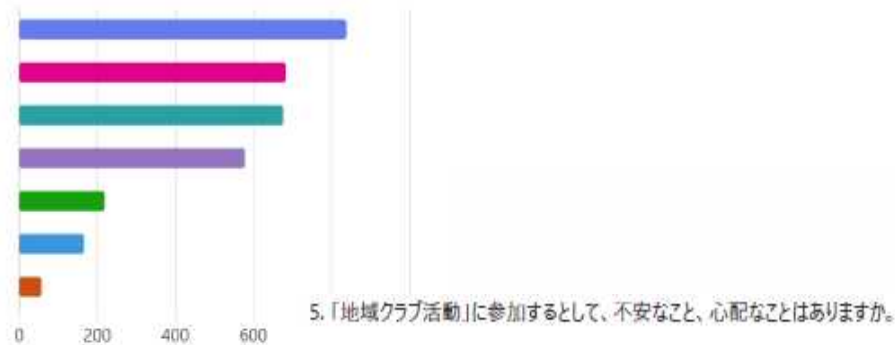
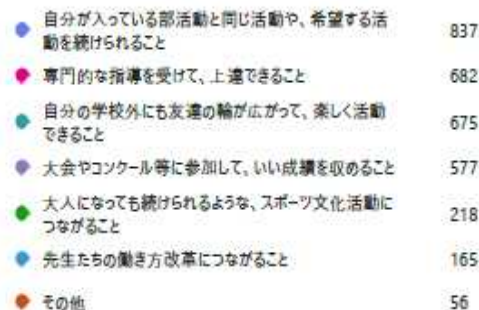
- 4月 4日（金）、部活動地域移行指導者研修会を開催。
- 4月から、12つのクラブがモデル事業として活動を開始。
- 7月15日（火）令和7年度第1回取手市部活動地域移行推進協議会を開催。
- 広報とりで8月号に、部活動地域移行の記事を掲載。
- 9月17日～30日、全中学校の生徒、保護者、教職員、小学校5・6年生の保護者にアンケート調査を実施。
- 10月 7日（火）第2回取手市部活動地域移行推進協議会を開催。
- 10月、全中学校を訪問し、校長先生、教頭先生からヒアリングを実施。
- 11月、全中学校の部活動顧問に地域クラブ活動指導員の希望調査を実施。
- 11月 6日（木）、部活動地域移行保護者説明会実施。（取手市福祉交流センター）
- 11月14日（金）、部活動地域移行保護者説明会実施。（藤代庁舎）
- 12月、地域クラブ活動（実施種目、拠点校）・指導員の決定。
- 1月、地域クラブ活動（実施種目、拠点校）・指導員の周知（対象、市内全小中学校の教職員＋保護者）。
- 2月、新入生説明会において、小学6年生と保護者に対して、説明会を実施予定。
- 2月 日（ ）第3回取手市部活動地域移行推進協議会を開催。
- 2月、全中学校を訪問し、現1・2年生運動部員、吹奏楽部員＋教職員＋保護者に対し説明会を実施。
- 3月、全中学校の現1・2年生運動部員、吹奏楽部員に対し、地域クラブへの入会申込書を配布。集約。
- 3月、地域クラブ活動指導員への説明会＋研修会を実施（一斉に実施）。
- 3月、地域クラブ活動に参加予定の生徒＋保護者への説明会を実施（各クラブごとに実施）。
- **4月、すべての中学校において、休日の部活動を地域クラブ活動に移行。**

取手市の取組について④ アンケート調査の結果から

11

○中学生への調査から

4.「地域クラブ活動」に望むこと、期待することは何ですか。

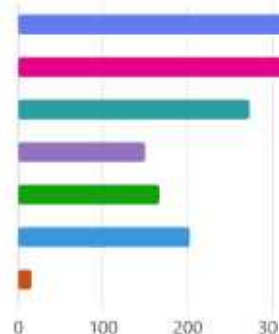
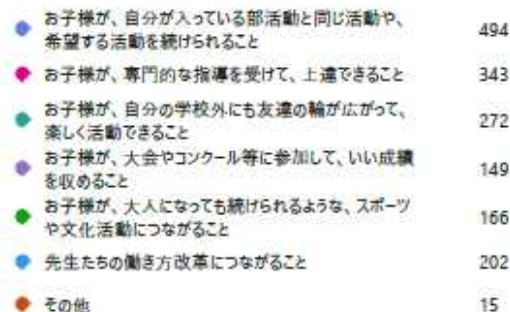


取手市の取組について⑤ アンケート調査の結果から

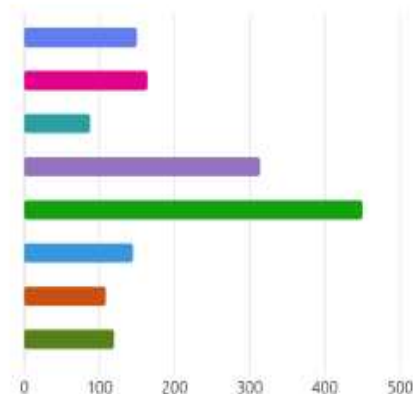
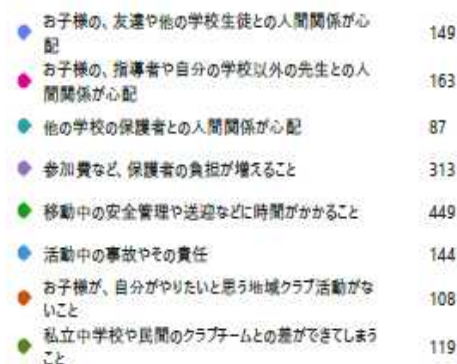
12

○中学校保護者への調査から

4.「地域クラブ活動」に望むこと、期待することは何ですか。



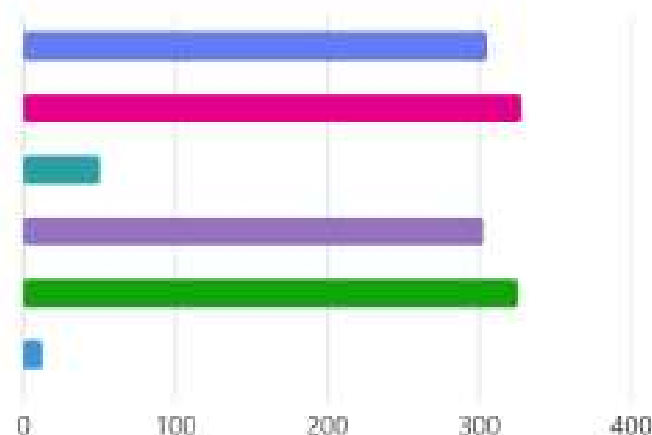
5.「地域クラブ活動」に参加するとして、不安なこと、心配なことはありますか。



○中学校保護者への調査から

7.「地域クラブ活動」は、学校外の活動となるため、クラブを維持していくためや指導者の方への謝金をお支払いするために、国や市の補助金以外に、参加者から参加費や年会費をいただくことになります（一定の条件のもと、減免規定も設ける予定です）。取手市では、令和8年4月から、参加費（各クラブ共通で、月会費3,000円以内予定）をいただく予定です。そのことについてご意見をいただければと思います。

● 参加費や年会費がかかるのはしかたがない	305
● 参加費や年会費がかかっても、子どもが希望すれば「地域クラブ活動」に参加させたい	327
● 参加費や年会費がかかるのでは、子どもを「地域クラブ活動」に参加させられない	50
● 子どもたちのために、もっと国や市の補助を増やしてほしい	302
● 子どもたちのために、充実した活動ができる環境を作ってほしい	325
● その他	12

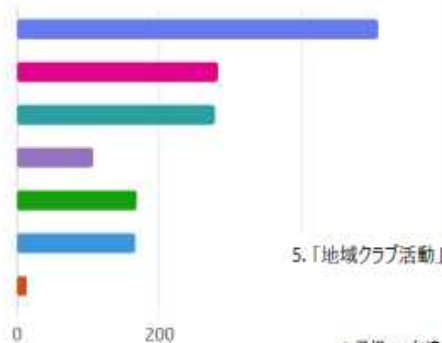
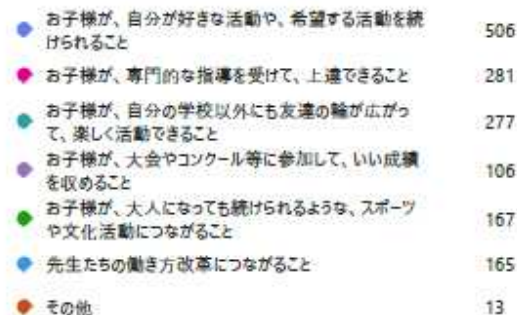


取手市の取組について⑦ アンケート調査の結果から

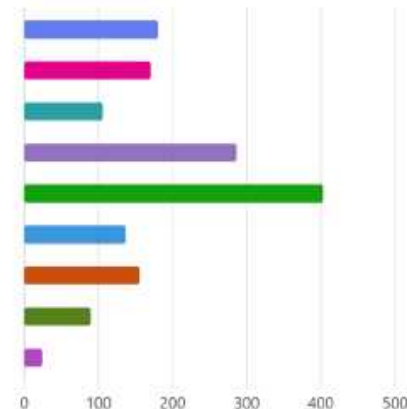
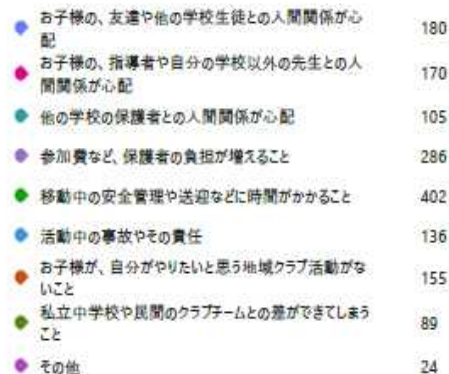
14

○小学校5・6年生の保護者への調査から

4.「地域クラブ活動」に望むこと、期待することは何ですか。



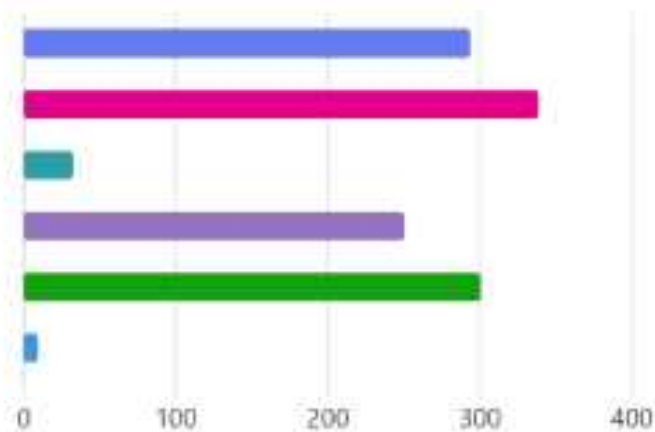
5.「地域クラブ活動」に参加するとして、不安なこと、心配なことはありますか。



○小学校5・6年生の保護者への調査から

7.「地域クラブ活動」は、学校外の活動となるため、クラブを維持していくためや指導者の方への謝金をお支払いするために、国や市の補助金以外に、参加者から参加費や年会費をいただくことになります（一定の条件のもと、減免規定も設ける予定です）。取手市では、令和8年4月から、参加費（各クラブ共通で、月会費3,000円以内予定）をいただく予定です。そのことについてご意見をいただければと思います。

● 参加費や年会費がかかるのはしかたがない	293
● 参加費や年会費がかかって、子どもが希望すれば「地域クラブ活動」に参加させたい	338
● 参加費や年会費がかかるのでは、子どもを「地域クラブ活動」に参加させられない	32
● 子どもたちのために、もっと国や市の補助を増やしてほしい	250
● 子どもたちのために、充実した活動ができる環境を作ってほしい	300
● その他	9



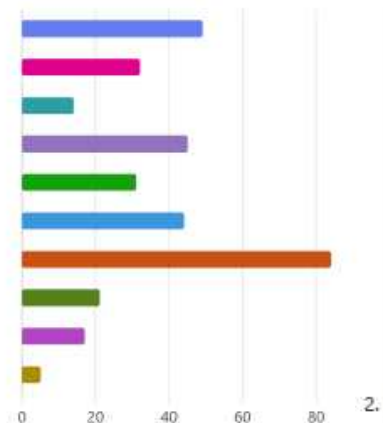
取手市の取組について⑨ アンケート調査の結果から

16

○中学校教職員への調査から

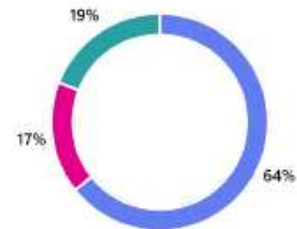
5. 「地域クラブ活動」に参加するとして、不安なこと、心配なことはありますか。

● 生徒の、友達や他の学校生徒との人間関係が心配	49
● 生徒の、指導者や自分の学校以外の先生との人間関係が心配	32
● 保護者同士の人間関係が心配	14
● 参加費など、保護者の負担が増えること	45
● 移動中の安全管理や送迎などに時間がかかること	31
● 地域クラブでの活動中の事故やその責任	44
● 教職員の負担が増えないかどうか	84
● 生徒が、自分がやりたいと思う地域クラブ活動がないこと	21
● 私立中学校や民間のクラブチームとの差ができてしまうこと	17
● その他	5



2. 部活動の顧問をされていますか。

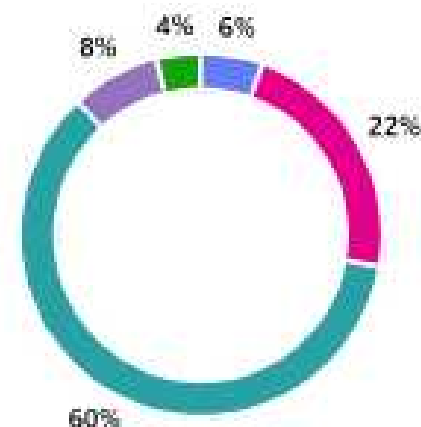
● 顧問をしている（運動部）	81
● 顧問をしている（文化部）	21
● 顧問をしていない	24



○中学校教職員への調査から

7. 今の部活動を地域に移行することから、中学校の部活動顧問の先生方にも、「地域クラブ活動」の指導者をお願いしています。部活動の地域移行にあたり、兼職兼業で、休日に「地域クラブ活動」の指導にあたることを希望しますか。

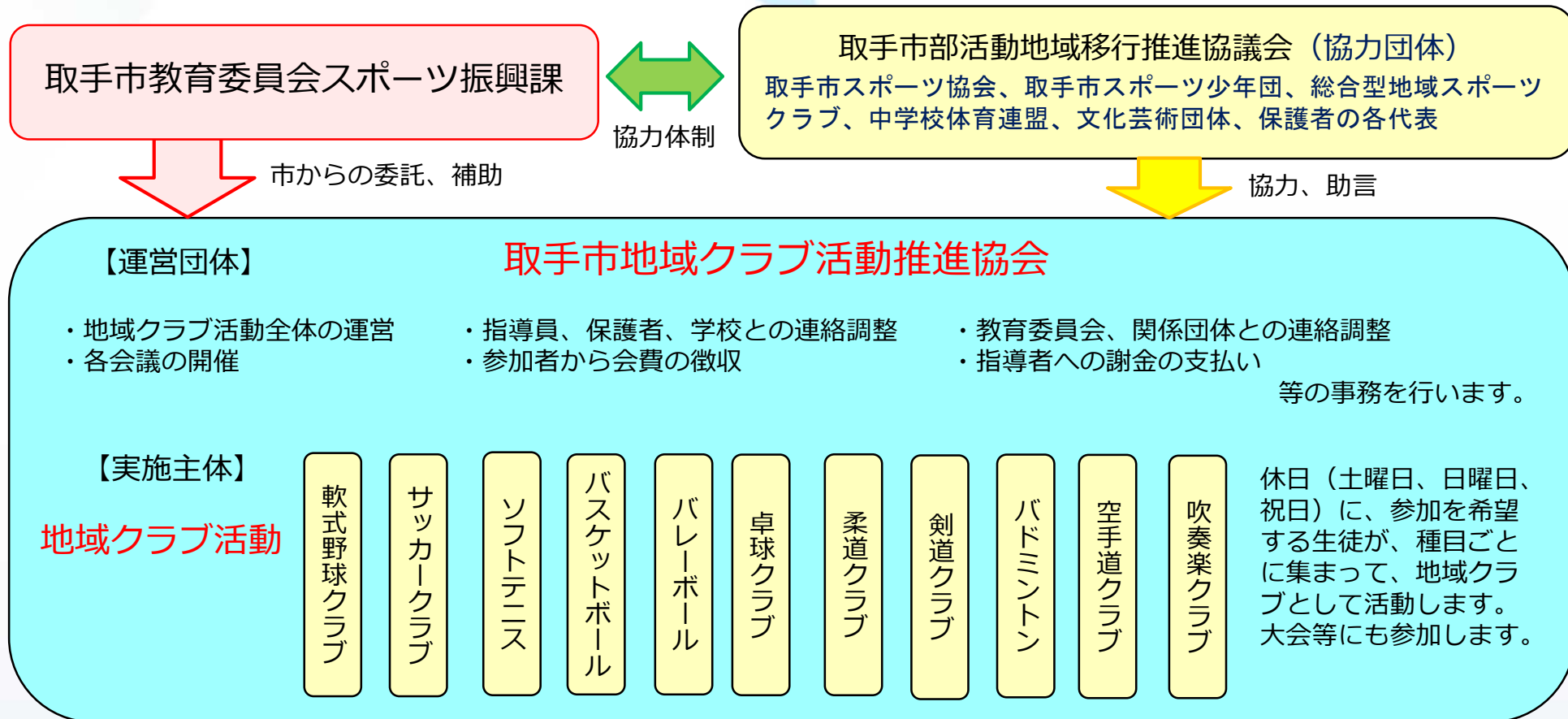
● 希望したい	7
● 条件によっては希望したい	28
● 希望したくない	76
● わからない	10
● その他	5



取手市の取組について⑪ 「地域クラブ活動の運営団体・実施主体について」

18

☆取手市は「取手市地域クラブ活動推進協会」を通して、中学生の休日(土曜日・日曜日・祝日)の活動場所となる地域クラブ活動を運営していきます。



取手市の取組について⑫ 「取手市の地域クラブ活動について」

19

☆取手市は「取手市地域クラブ活動推進協会」を通して、中学生の休日(土曜日・日曜日・祝日)の活動場所となる地域クラブ活動を運営していきます。

☆取手市から委託を受けた「取手市地域クラブ活動推進協会」の中に、中学生の地域クラブ活動を作ります。

○平日は各中学校で部活動として活動しますが、休日（土曜日、日曜日、祝日）には、参加を希望する生徒が、種目ごとに拠点校を中心に集まって、地域クラブ活動として活動します。

平日とは違う種目に参加することも可能です。

○クラブ員は、・正会員（中学生、指導員、保護者※任意）
・準会員（参加を希望する小学生や高校生）
・賛助会員（指導、見守り、移動見守り等の各ボランティア） の3つになります。

○活動場所は、市内中学校が中心になります。

○参加費（年会費、月会費）やスポーツ安全保険等への加入が必要になります。

○チームとして、大会にも参加することもできます。

○指導者は、学校の先生も含めて、取手市が任命した地域クラブ活動の指導員になります。

◎「楽しく・うまく」を目標に、生徒と指導員で、月の活動計画や活動内容を決めていきます。

・取手市スポーツ協会、取手市スポーツ少年団、文化芸術関係団体等の地域団体とも連携していきます。

【種目】 軟式野球、サッカー、ソフトテニス（男女）、バスケットボール（男女）、バレーボール（女子）
卓球（男女）、柔道（男女）、剣道（男女）、バドミントン（男女）、空手道（男女）、吹奏楽

☆その他に、**中学校の部活動にないもの等については**、**既存の地域の団体等と連携して**、中学生のために、多様な活動場所を作っていく予定です。

◎地域の団体等と連携した中学生の活動場所づくり

○**中学校の部活動にないもの等については**、**取手市スポーツ協会やスポーツ少年団に所属している団体、総合型地域スポーツクラブ、地域の文化芸術系の団体など**、**既存の地域団体等と連携して**、**中学生のために**、**多様な活動場所を作っていく予定です**。

- ・活動日や活動場所は、各団体の活動日、活動場所になります。
- ・参加費やスポーツ安全保険への加入については、団体によって異なります。
- ・指導者は、各団体の指導者の方々になります。

(例) 美術、陸上競技、女子サッカー、男子バレーボール、硬式テニスなど。アンケート等を参考にしながら現在、各団体と調整中です。

美 術(ワークショップを行いました。)

○夏の油彩講座

- ・ 日時：令和7年8月25日(日)、29日(金) 9:00～12:00
- ・ 会場：取手第一中学校美術室
- ・ 対象：取手市内中学校の美術部員
- ・ 講師：講師 あーと屋図工室 浅野純人先生
- ・ 参加費：1人2,000円

☆取手一中の生徒2名、取手二中の生徒1名が参加しました。



バドミントン(講習会を行いました。)

○YONEXヨネックス取手市バドミントン教室

- ・ 日時：令和7年9月14日(日) 12:00～15:00
- ・ 主催：取手市スポーツ協会バドミントン部
代表 江崎 宏幸さん
- ・ 会場：TAC取手グリーンスポーツセンター
- ・ 対象：取手市内中学校バドミントン部員
- ・ 講師：須藤泰子(元日本代表)
ヨネックスアカデミースタッフ
- ・ 参加費：1人500円

☆取手一中、藤代中、藤代南中の生徒12名が参加しました。



取手市の取組について⑮ 「受益者負担と公費のバランスについて」

22

令和8年度からの中学校部活動地域移行事業に関する経費の内訳

- ・ 令和8年度から本格実施。総事業費のうち約60%を市費＋国費で負担。
- ・ 受益者負担分として、一人あたり年会費2,000円、月会費3,000円を予定。

総事業費	受益者負担で 賄いたい	会費（地域クラブ活動費） ・ 指導者謝礼（交通費込み） ・ 保険料（本人・指導者スポーツ保険料） ・ 手数料（指導者謝礼振込手数料、アプリ使用 手数料等）	受益者負担 年会費2,000円 月会費3,000円 年間1人／38,000円	受益者負担
	市費で賄う	市費（地域クラブ運営費） ・ 報酬（事務局職員2名） ・ 費用弁償（事務局職員2名） ・ 消耗品費（地域クラブ消耗品） ・ 消耗品費（事務局消耗品） ・ 通貨運搬費（各種通知郵送料） ・ 備品庫入費（カメラ） ・ 負担金（大会参加費、要準要保護世帯助成）	市費＋国費（推定）	市費＋国費 （推定）

※令和8年度は、地域クラブ活動の参加費として、年会費2,000円、月会費3,000円を予定しています。

